

は やま

羽山

校訓：敬愛・探究・勤労

教育目標：豊かな情操をもち、自立的に生きる生徒の育成

文責：柴田町立船迫中学校長 曾根 秀輝

## 3年生の本当の力を見ることができました！～3年生修学旅行～ 柴田町は素敵なお町だなあ！～1年生校外学習～

3年生は9月9日(水)から2泊3日で修学旅行に行ってきました。9日(水)は久慈市で自然体験活動、10日(木)は盛岡市内自主研修、11日(金)は「えさし藤原の郷」、「中尊寺」に行きました。

また、1年生は9月11日(金)に柴田町農村改善センター、葉坂地区遺跡発掘現場で校外学習を行いました。「柴田町の歴史と復興支援」、「ラベンダーを利用した石鹸作り」、「葉坂地区の縄文時代の住居」について学びました。

3年生と1年生に、それぞれの行事の感想を書いてもらいましたので、ご紹介します。

修学旅行を通して、改めて私たち3年生の本当の力を見ることができたなと思いました。みんなとあれば、どんな場所でも楽しめること。自分たちで考えて行動できること。それが私たちの一つの良さとして表れたのではないかなと思いました。私は、一つ一つの活動ごとに違うメンバーと過ごすことが多くて、より多くの友達と大切な時間を過ごせて本当によかったなと思います。最高の思い出になりました。

3年2組 大坂ひなたさん

最初に予定していたものと違って、少し気持ち下がっていたけれど、実行委員長が言っていた「どこに行くのかではない。誰と行くかだ!」という言葉聞いて共感し、「自分たちが楽しもうという気持ちがないと楽しめないな。」と思いました。そして、前向きに考えて楽しめました。今まで長い間、一緒にたくさんのことを学んできた3学年で、また一つの思い出ができて、多くのことを学ぶことができました。

3年2組 市川野乃夏さん

修学旅行で学んだことは、たくさんあります。その中でも、盛岡自主研修で多くのことを学ぶことができました。一つ目は盛岡の町の歴史や、盛岡八幡宮など、「歴史」について、色々教わりました。二つ目は住人の優しさです。僕たちが道に迷っている時、優しく丁寧に教えてくれました。バスの運転手さんにもお世話になりました。これらは「人」として必要な学びでした。道案内などをするのはとても大事であると感じました。色々良い経験になりました。

3年2組 渡邊空哉さん

行き先が東京から岩手が変わってはしまっただけで、その分、今回のテーマのように仲間と楽しむことができ良かった。協力して自主研修を行うことで、仲間との絆をより深めることができました。この旅行を考えてくれた旅行会社さん、先生方、保護者の皆さん、実行委員、仲間。そして、受け入れてくれた山荘やホテル等の施設の皆さん。長い旅を安全運転してくれたバスの運転手さん。様々な人に支えられてこの旅行が成立していることを受け止め、お世話して下さった皆さんに恩を返せるような生活を送ってみたいです。

3年2組 佐藤琉菜さん

修学旅行が東京ではなくなって楽しめないだろうと思っていましたが、やはり、楽しむ努力は大切だと思いました。先生方も言っていた「誰と行くか」、「みんなと行ける」。そう思えば、とても楽しむことができました。学んだことは「楽しむ努力」と「みんなとの絆」です！この2つを忘れずに他の行事や残りの中学校生活を楽しみたいと思いました。

3年1組 阿部歌音さん

本当に、「どこに行くか」ではなく「誰と行くか」という修学旅行のテーマが現実になったと思った。「楽しい修学旅行だから注意とかあまりしたくない。」と思っていたけれど、校長先生の話聞いて考えが変わりました。実行委員さんたちが裏で一生懸命私たちのために計画していたことを改めて知り、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

3年1組 菊地美安さん

100年前に柴田町で感染症の流行や災害が続いていて大変だったことが分かりました。また、槻木出身の小室達さんが伊達政宗の騎馬像をどのようにして作ったのかを知ることができました。

1年2組 馬場仁菜さん

「柴田町に遺跡が多い。」というのは知っていましたが、まさか、発掘現場を見られるとは思ってもみませんでした。古墳時代の土器も出土されたとのことだったので、あまり教科書に載っていないものを見られるという、貴重な体験だと思いました。

1年1組 黒澤徹真さん

柴田町では、本日の校外学習をはじめ、いろいろな人が協力してくれて、とても優しく教えてくれる人がたくさんいます。私が地域のためにできることは、地域の人に会ったら、いつでも、きちんと挨拶をして、地域の人たちを笑顔にすることです。

1年1組 西島依咲さん

最初は「岩手か…」という感じで、あまり期待はしていなかったけれど、実際に行ってみると、結構楽しかった。「その場所のイメージだけで判断してはいけない。」ということを知りました。

3年1組 菅原琉成さん

実行委員の一人として、学級委員さんに任せきりではなく、自分から声を出して行動していくことが大事だということを知りました。「一人でだめなら二人、二人でダメなら三人、…」と、協力してくれる人を増やしていけば、本当の意味で「皆が自由に過ごせるクラス」がしてくれるのではないかと思います。自分も「ルールを守れていないのに注意ばかりする。」ということがないように、「守るべきことは守っていきたい。」と思います。

3年1組 櫻井 鈴さん

自分たちで刈り取りをした学校のラベンダーを使い、大河原商業高校の方々にラベンダーオイルを作ってもらいました。そして、ボランティアさんをはじめ、いろいろな人たちに手伝ってもらい、ラベンダー石けんを作ることができました。

1年1組 菊地夕凧さん

自然豊かで遺跡があり、その遺跡を未来に伝えようとする町の人々がいて、改めて「柴田町は素敵な町だなあ。」と気付くことができました。その地域のために私はボランティアに進んで参加したり、地域の人々となつながら、このようなことに参加して、この地域をもっと良くしていきたいです。

1年2組 菅原 綸さん

柴田町の良さは自然が豊かで、歴史的な物や有名な人物がいることです。私は地域のために、「この町の魅力や文化を他の町・県・国の人や、未来の私たちの子孫に伝えていきたい。」と思いました。

1年2組 安藤日愛さん